



かがやき

3月号 NO.14

令和8年3月25日



新しい学校教育目標について

校長 吉澤 充

令和7年度も、明日が最終登校日となりました。この1年間、全教職員で「学校だからできる教育」を核に据え、学習指導要領に示された目標を、全ての児童に確実に身につけてもらえるように取り組んでまいりました。

今年度は、「学校だからできる教育」をより充実させるために、これまで大切にしてきた学習活動について、改めてその意味やねらいを確認し、共有しながら取り組んできました。理科の実験・観察、家庭科の裁縫・調理実習、音楽の楽器演奏等、座学とは異なる教科指導、ダムや浄水場、ゴミ処理場等の施設見学、町探検、花や野菜の世話等、例年行ってきた活動は、どれも児童の学びを支える重要な体験です。今年度は、それらの活動が単なる“行事”としてではなく、学習内容を確認、理解を深め、興味・関心を広げ、高めるための貴重な学びとして位置づけ、実際に見て・触れて・感じる活動であることを教職員で再確認しながら取り組んできました。

さらに今年度は、こうした学びを一層豊かにするために、外部講師による授業や新たな体験活動も追加しました。プロ野球選手による投力の運動指導、プロの演奏者によるリコーダー指導、本校卒業の落語家による落語教室、海外の学校との交流授業等、数多くの学校だけでは得られない“本物の学び”を積極的に取り入れました。



小学生は、好奇心が大きく広がる時期です。だからこそ、本物に触れる機会を増やし、学びを自分の言葉や行動につなげていく教育を大切にしてきました。これらの経験は、すぐに目に見える成果として現れなくても、子どもたちの未来を支える大きな土台になると確信しています。

一方で、先日実施した学校評価の「学校目標や教育方針を知っていますか」という項目では、「知っている」と回答した保護者の割合が77%となり、昨年度よりもわずかに低い結果となりました。この結果を学校としての課題と受け止めています。4月号の学校だよりで「家庭とともに児童の教育を進めていきたい」とお伝えしましたが、その思いがより伝わるよう、発信の工夫が必要であると感じました。学校と家庭、地域が同じ方向を向いて関わることで、児童の成長にとって何よりも重要です。



そこで、今年に入り、学校教育目標の見直しを進めてまいりました。これまでの学校教育目標『きらきらと 瞳かがやく 南の子』について、教育基本法・学校教育法および学習指導要領の趣旨との整合性を改めて確認し、より分かりやすく、保護者・地域・教職員が共通理解をもちやすい形に

する必要がありますと考えました。新たな学校教育目標を策定するにあたり、保護者・地域・教職員を対象に「これからの時代にふさわしい児童像」についてアンケートを実施し、多様な視点を反映した目標づくりを進めました。「どんな子どもに育てほしいか」という問いに対する結果の一部を以下に紹介いたします。ご協力ありがとうございました。

○ アンケートの結果

	確かな学力	豊かな人間性	健康や体力
家庭	1位 考えて行動できる子 2位 挑戦する子 3位 進んで学ぶ子 3位 よく考える子	1位 思いやりのある子 2位 認め合う子 3位 優しい子	1位 心身ともに健康な子 2位 元気な子 3位 たくましい子
地域代表	1位 考えて行動できる子 2位 よく考える子 2位 進んで学ぶ子	1位 認め合う子 2位 思いやりのある子 3位 仲良くできる子	1位 心身ともに健康な子 2位 元気な子
教職員	1位 よく考える子 2位 考えて行動できる子 2位 進んで学ぶ子	1位 思いやりのある子 2位 認め合う子	1位 心身ともに健康な子 2位 たくましい子 3位 元気な子 3位 ねばり強い子

いただいたご意見を基に、校内で学校教育目標検討委員会を開催し、中学校の学校教育目標との系統性や児童の発達段階を踏まえながら、教育的妥当性と実現可能性を重視して検討を重ねました。その結果、次の3つを新たな学校教育目標として設定いたしました。

<新しい学校教育目標>

- 「よく考える子」(確かな学力)
- 「思いやりのある子」(豊かな人間性)
- 「たくましい子」(健康や体力)



保護者の皆様、地域の皆様には、今年度も本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。新年度も引き続き、お子様の成長をともに支え、見守っていただければ幸いです。

6年生を送る会の実施

3月4日(水)に体育館で1年生から5年生までの児童が、6年生にこれまでの感謝の気持ちを劇や呼びかけて伝えました。6年生も劇や歌を通じて最高学年として学校生活の中で意識してきたことを下級生に伝えていました。



4年生による台湾との交流授業の実施

3月11日(水)に4年生が外国語活動の一環として、国際交流を実施しました。台湾にある現地校とインターネットを通じて、通訳を交えて英語でコミュニケーションを図っていました。



卒業式に向けて

3月23日(月)に4年生と5年生が、校舎内と体育館(式場)を掃除しました。黙って取り組む姿から、4月から高学年になるという自覚を感じました。

6年生は、18日(水)に一足先に中学校の先生による授業を体験しました。

